



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員が答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: おおくほよこ さん からの質問

てながざる ながいて、なぜなんですか?

ご質問、ありがとうございます。

「テナガザル」という種名のとおおり手（腕）が長く見えるテナガザルですが、当園のテナガザルの腕は約50 cmで人間の大人と同じくらいです。ただ、体の大きさに対して腕が長いのがテナガザルの特徴です。今回はテナガザルの腕のヒミツについて解説します。



体の大きさに対しての腕の長さを見てみると、人間は、両腕を広げた長さが身長とほぼ同じと言われています。一方で、テナガザルは片腕の長さが身長とほぼ同じです。人と比べると、体の大きさに対して腕が長いことがわかりますね。

野生のテナガザルは、ほとんどの時間を森の木の上で過ごします。移動する時は長い腕を使って、森の木々の枝をうんていをするように渡っていきます。この移動の仕方を「ブラキエーション」といいます。長い腕は木の上で移動するのにとても便利です。



ブラキエーションをするテナガザルはまるで飛ぶように軽々と動きます。これは、腕の長さに対して体が小さく、体重が軽いからだと考えられています。人間にはアンバランスに見える腕と体の大きさは、森の中で移動しながら暮らすのに適応した特徴なのです。

テナガザルの展示場の隣には、サルの仲間が飼育されていて、それぞれ、野生の生息地に適応したポイントをいくつも持っています。ぜひ、展示場前の看板をヒントにしながらそれぞれのサルの適応ポイントを探してみてくださいね。